

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

多古町の安全安心な市街地整備の推進(防災・安全)

平成28年3月

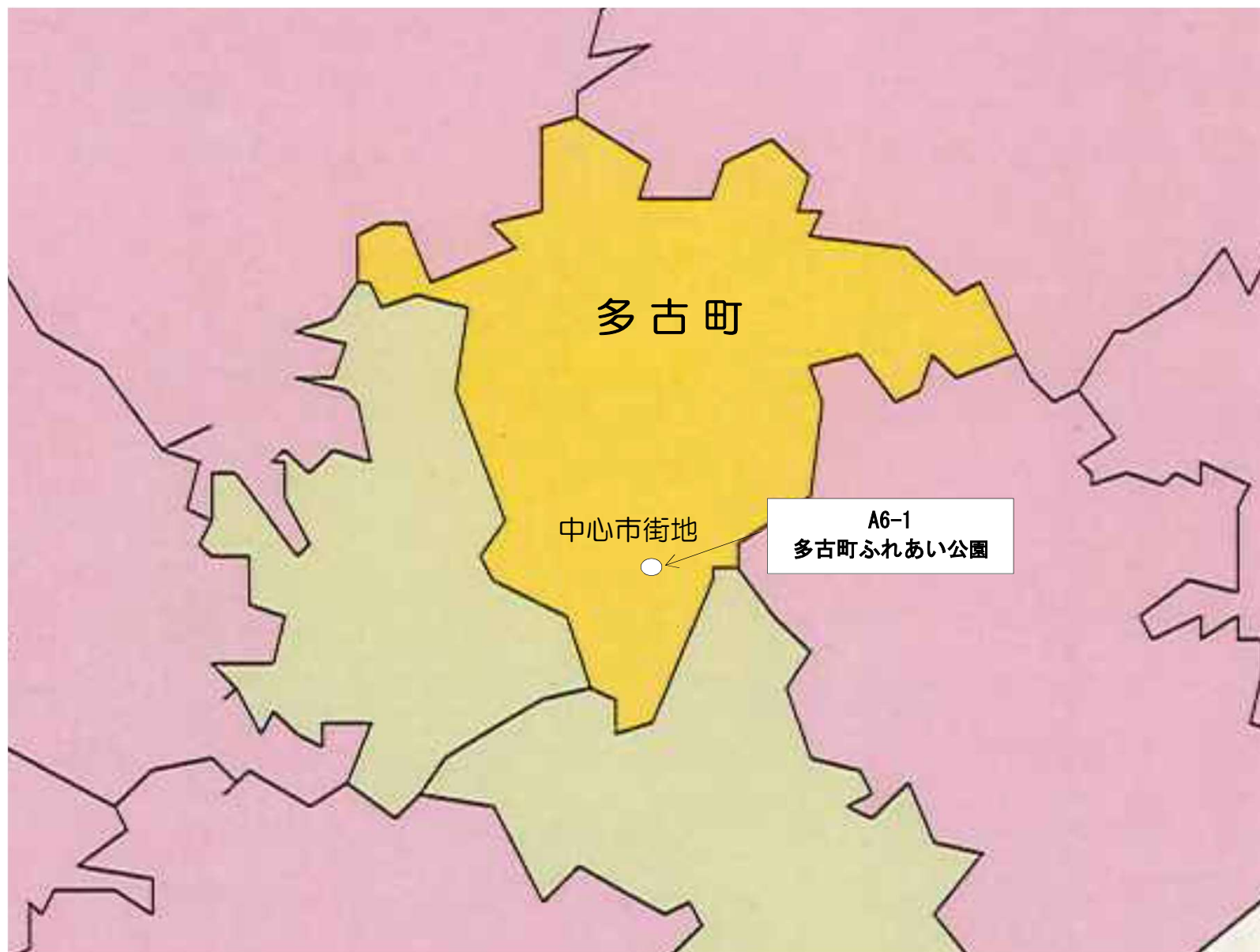
千葉県多古町

社会資本総合整備計画

計画の名称	多古町の安全安心な市街地整備の推進（防災・安全）							重点計画の該当								
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）			交付対象	多古町											
計画の目標	安全安心な市街地の整備を推進するため、避難場所の確保拡充をするとともに、公園緑地施設の整備を推進する。															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館を再整備することにより、体育館の利用者数を20,006人/年（H28）から30,000人/年（H30）に増加させる。 ・ 防災機能強化の推進及び住民の防災意識向上を図り、安全に避難所に避難できる人数を1,545人（H28）から2,032人（H30）に増加させる。 															
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考						
							当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H30末)							
体育館の年間利用者数（体育館の利用申請から集計する。）（人）							20,006人		30,000人							
災害時に体育館に避難可能な人数（体育館面積/1人当たり想定避難面積）（人）							1,545人		2,032人	1人当たり想定避難面積 4㎡/人						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,072百万円	A	1,072百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%				
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30					
A-1	都市公園	一般	多古町	直接	多古町	都市公園等事業（多古町ふれあい公園）	体育館建替え	多古町						1,072	-	
合計													1,072	-		
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H28	H29	H30					
合計																
C 効果促進事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H28	H29	H30					
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H28	H29	H30	H31	H32			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	多古町の安全安心な市街地整備の推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成30年度 (3年間)	交付対象	多古町



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:安全安心な市街地整備の推進(防災・安全)

事業主体名:多古町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等	
1)基本構想・基本計画と適合している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題と整備計画の目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が町民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)整備計画実現に向けた機運がある。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

交付金の執行状況

単位:百万円

	H28	H29	H30
配分額 (a)	14	50	180
計画別流用増減額 (b)	0	0	0
交付額 (c=a+b)	14	50	180
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0
支払済額 (e)	14	50	180
翌年度繰越額 (f)	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0
未契約繰越+不用率 (i=(g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を 超えている場合その理由			

※平成28年度以降の各年度の決算額を記載。
 ※平成29年度は、決算額が確定出来次第記載。